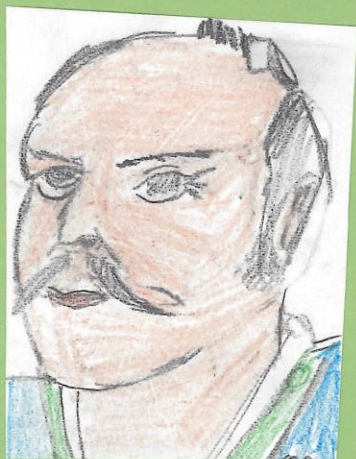


天下分け目の関ヶ原!!
なぜ家康は
勝てたのか!?



VS



野田市立南部小学校

5-3

柴正孝

表紙の人物画は
参考文献リスト 1,2と
Webページ 1です

写真

23.8.17

関ヶ原笹尾山交流館
父さつえい

目次

- 調べようと思ったきっかけ 1ページ
- 関ヶ原の戦いとは? 2ページ
- 徳川家康のプロフィール 3ページ
- 石田三成のプロフィール 4ページ
- そもそも関ヶ原って? 5~6ページ
- 関ヶ原町に行ってきました! 7~21ページ
 - いざ関ヶ原の戦いへ!
- 関ヶ原の戦いについて教えていただいて 22~26ページ
 - 疑問に思ったこと
- 敗走した西軍はその後どうなった. 27~28ページ
- 調べたり教えてもらったり、教えてもらって 29.30ページ
 - さらに調べた結果、なぜ家康は勝ったのか
 - 自分の考え
- 家康に対して思ったこと 30ページ
- 調べる学習でおとずれた場所 31~34ページ
 - 調べる学習でおとずれた景色 35ページ
- 調べとみての感想 36ページ
- ご協力してくださった方々 37ページ

~ 参考文献リスト ~

調べようと思ったきっかけ

もともと日本史の戦国史が大好きで、関ヶ原の戦いが安土桃山時代最後の“天下分け目の大戦”で日本の武将たちが真二つに分かれる大戦に興味がありました。

そんななか、NHKの「ブラタモリ #239 関ヶ原の戦い〜天下分け目は地形にあり!?〜」を観て、さらに関ヶ原の戦いについて調べたりと思いました。番組で詳しく家康が勝ったことをドっていましたか自分でもなんで徳川家康は関ヶ原の戦いで勝ったのか!?というのを調べてみたくなりました。そこで、関ヶ原の戦いのこと、家康がなぜ勝ったのかなど調べていきたいと思います。

やり方

・自分で持っていた本もいくつかありましたが、まずは図書館に行けばたくさん本があると思い、野田市の興風図書館に行きました。自分でも本を探してみましたが探しきれなかったのが、司書さんの川嶋さんに聞き色々な本を探してくださいました。自分で探せた本、探してもけった本を活用していきたいと思います。

・実際に関ヶ原の戦いの場所に行き、陣跡などを見たりお話を聞いたりして自分の謎をさぐってほしいと思います。

関ヶ原の戦いとは？

1600年9月15日、岐阜県の南部、関ヶ原でおこなわれた天下分け目の大戦のことです。

※この9月というのは旧暦の9月で、今でいう10月20日か21日あたりに起こったことです。

- ・石田三成率いる西軍約8万2千、徳川家康率いる東軍約7万4千の戦いです。
- ・なぜ天下分け目と言われるかというと、全国をまとめていた豊臣秀吉が亡くなった後、全国の支配者を決める戦いになったことから、天下分け目の大戦と言われています。
- ・豊臣秀吉が亡くなった後は、徳川家康が実権をにぎるようになったことに対して、石田三成は豊臣秀吉の側近^{※1}だったため、反徳川勢力の軍を結成して、毛利輝元を総大将にした戦いになりました。^{※2}

※1側近：身分のある人に仕えること。また、その人。

初級学習 国語辞典 p729より引用

※2毛利輝元は関ヶ原の戦いの時は大阪城に行きました。

- ・結果的に6時間ほどで東軍徳川家康が勝利する戦いですが、地形から見ても兵の人数から見ても西軍が有利でありました。

徳川家康のプロフィール

今NHKでどうする家康 でもやっているように、とても苦勞の多かった少年時代でした。

三河国(現在の愛知県東部岡崎城(愛知県岡崎市))に生まれ、最初は松平が苗字でした。松平家は織田氏、今川氏という有力な大名にはきまれていた小大名で、
おねに両氏からにらまれていました。そのため6歳~19歳まで織田氏、今川氏の
人質として過ごしました。そして桶狭間の戦いで今川義元が織田信長にやられて
戦死するとようやく今川からの人質生活から解放されて岡崎城に戻れました。
三河国の統一を進める中、織田信長と同盟をむすび領地を広げていきました。
よくの大好きな武田信玄などと戦いを行ったりしていました。

そんな中、織田信長が本能寺の変で殺されてしまうと勢力をのばしてきた
羽柴秀吉(のちの豊臣秀吉)と対立します。このころ家康は、

三河(みかわ)、遠江(とうとうみ)、駿河(するが)、甲斐(かい)、信濃(しなの)の5か国
をもっていた大大名になっています。秀吉も勢力をどんどんのばして1590年ごろ、
天下統一をはたしました。その秀吉に関東8か国がまたえられます。

1598年に秀吉が亡くなると秀吉の側近だった石田三成との対立が深まり
関ヶ原の戦いになります。

関ヶ原の戦いに勝利した後、江戸幕府をひらき江戸城を建設したり城下町を整備したり
江戸幕府の基礎づくりをした人です。75歳で亡くなりになりました。

※大名:平安時代から中世にかけて、広い土地とからいをもつて、それを
おさめた者 例 解学習 国語辞典 金田一真助編 P52 より引用

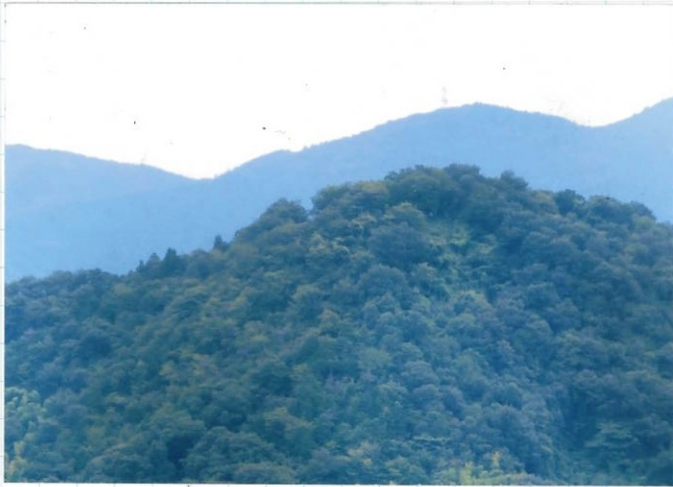
23.8.13、
本人さつえい



石田三成のプロフィール

戦国時代の武将で近江国石田村(現在の滋賀県長浜市)に生まれます。
長浜城主だった羽柴秀吉がたかばりに出かけているときにのどがかわき
近くの寺に寄ると飲みがすりぬるめの茶がふるまわれました。もう一杯、という
今度は一杯目よりも少し熱い茶がでてきて、それをごくごく飲みほして、
さらにもう一杯、というと二杯目より熱い茶がでてきました。
これを行なったのが石田三成でした。この気づかりに秀吉は感心して、
13歳のころから御前として働いていました。秀吉の全国統一後は
政治の方で活躍していました。豊臣政権をまもるために頑張っていて、
令民からは好かれていたけれど、それぞれの大名からは強引なやり方などで
反感が、ていました。秀吉が亡くなった後に勢力を伸ばしていた
徳川家康に対抗して、毛利輝元や宇喜田秀家、大谷吉継などをまとめて
関ヶ原の戦いで西軍として戦いを挑みましたが数々の切り切りで敗北してしまい、
処刑されました。

佐和山城跡地



佐和山城は、石田三成が
城主だったお城です。

23.8.18

本人さへい

そもそも関ヶ原って!?

関ヶ原の戦いにある"関ヶ原"は
岐阜県の関ヶ原町のことです。

1. 岐阜県南西部にある北の伊吹山地と南の鈴鹿山脈にはさまれた町で
すぐとなりの県は滋賀県です。
冬はびわ湖北部の山が低いため、日本海からくる冬の季節風が伊吹山に
吹きつけることで、とても雪が多い町です。

2. 人口は現在[※]6,349人でだんだんと人口は減ってきているようです。
^{※2023年8月1日現在}

3. JR東海道本線、東海道新幹線、名神高速道路、などが、せまり山ありに
通っています。
交通の要所としてとても有名な町で、昔も福井県などに行ける北国街道や
京都に行ける中山道、伊勢に行ける伊勢街道の交差する所でした。大阪
などに行くときもここを通っていました。



車内より本人ごっえい



< 関ヶ原町の地図 >



https://earth.google.com/web/search/関ヶ原町/@35.361703,136.46976835,124.420256779,5353.26893526d,35y,0.00000001h,59.92266241t,360r/data=CigiJgokCUU5F4nH0zRAEUQ5F4nH0zTAGEoiMGL_TkNAIRCrsUoZAVDA より印刷



<https://earth.google.com/web/search/関ヶ原町/@35.36703416,136.47046915,127.05370341a,3042.7628462d,35y,0h,0t,0r/data=CigiJgokCROKLNrPtKFAEWB5BoXBq0FAGU7cJI7iE2FAIRzRnp7sDGFA> より印刷

真上から見た地図だととても平坦に感じていたが、実際に行ってみたら石田三成の本陣跡を見上げないとだめなほどの坂道が続いていてとてもおどろきました。写真にとっても平坦に見えてしまうため、Google Earthを活用しました。

日本の地理 にも書いてありますが、となりの岐阜県岐阜市から関ヶ原までの間は急な坂で、東海道線は、大垣から関ヶ原に向う電車は直線では登れないので北の方を大きく遠回りして登って関ヶ原にまかれます。

関ヶ原町に行ってきました!!



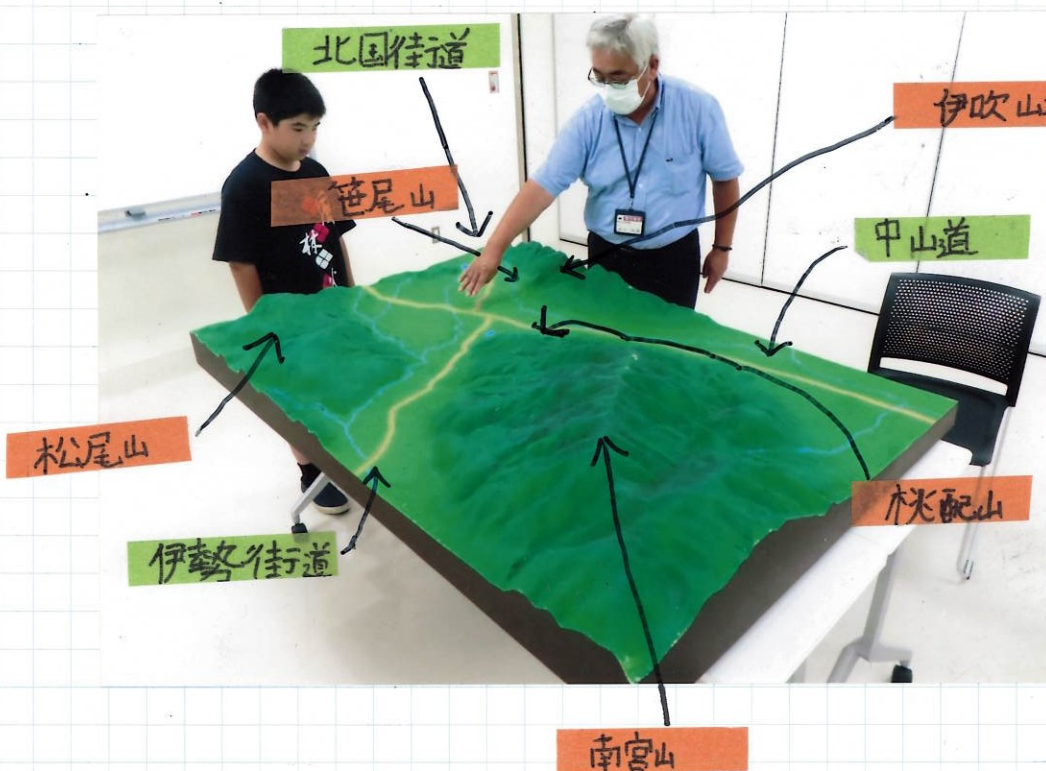
関ヶ原町歴史民俗
学習館
飯沼 暢康館長さん

関ヶ原の戦いについて調べていると
ご相談したところ、たくさんの
質問に答えてくださり、実際に
関ヶ原の模型を使、し軍を動かして
みようと言ってください、たくさんの
ことを教えてもらうことができました!!

いざ!!関ヶ原の戦いへ!

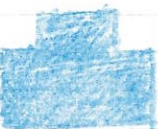
？実際にどんな戦いなんだろう？

P7~P11まで大おえい



飯沼館長が指を
きしている場所
あたりで戦いが
くり広げられます。

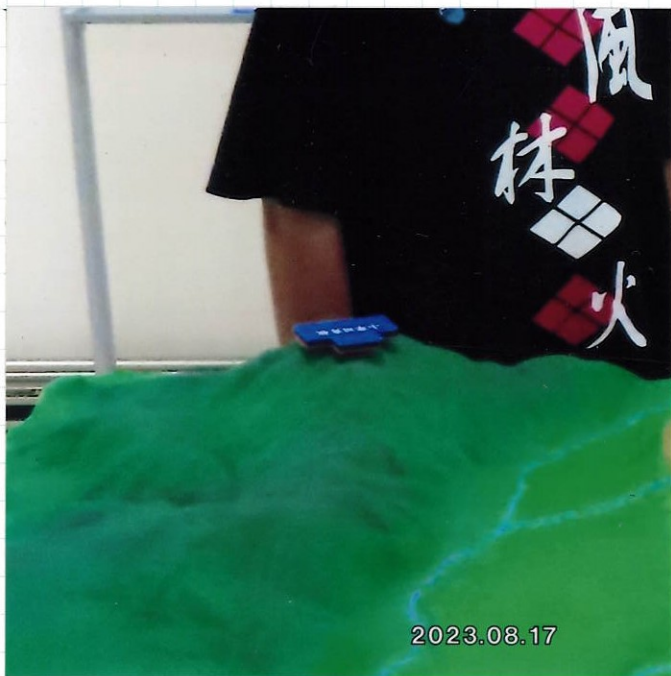
西軍



東軍



7 < 関ヶ原の立地 >



- ・関ヶ原の戦いは9月15日に開戦されていますが、実際は前日の9月14日から始まっていた。

9月14日

西軍 小早川 秀秋軍が
松尾山へ勝手に布陣

松尾山に陣をふいたのが
ポイントです



- ・毛利輝元、^{ちんぎん}長宗我部盛親、^{へいしん}吉川広家、ほか2隊は南宮山へ布陣

- ・9月15日午前1時(夜中)から現在の関ヶ原のとなりのとなりの岐阜県大垣市にある、大垣城に陣をふいていた西軍の石田三成たちが続々と関ヶ原に移動しはじめました。移動の理由として、東軍も大垣あたりにいましたが、「大坂城に進げきする」という情報が西軍に流れ、秀吉が作。た大坂城だ。たので、必ず通る関ヶ原を死守するために移動したようです。この情報は野戦が得意な家康側がわざと流したともいわれています。



- こちらの写真は西軍の一番最後の宇喜田秀家隊の最後尾の[※]兵糧部隊が、東軍の一番最初の福島正則隊に追いつかれて「はよ、行け!」とこづかれている時をあらわした写真です。

この戦いの時代は、開戦! とならない
うちは攻め込まないというあんもくの
ルールがあっ、たそうです。

※ ^{兵糧}兵糧部隊は、米や物資を運ぶ
部隊のことです。



- 東軍の一番最初の部隊の福島正則隊が関ヶ原にきはじめた時に、西軍の隊が整いました。写真左下のよう配置されています。東軍福島隊は勝手に布陣しました。福島正則はとても血気盛んな人で、[※]一番倉になるつもりだし、西軍が一番人数の多か。た宇喜田隊を倒すことで実績をあげることができると考えたそうです。

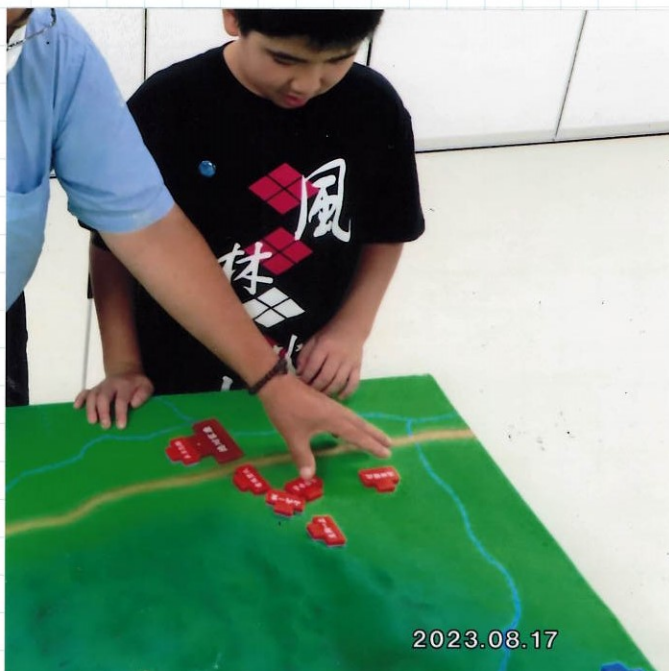
※ ^{一番倉}一番倉、戦場では、先にドリで
敵陣へ突入すること
角川国語辞典 新版 角川書店
又松澤一・佐藤謙三 編 発行所



- 東軍、黒田長政隊がきいる五部隊がこのように布陣しました。五部隊の竹中重門さんは、関ヶ原にお城を持てりて、この地理に詳しくたそうです。



- 次に井伊直政がきいる五部隊もこのように布陣しました。井伊直政と一緒に行動していたのが松平忠吉です。松平忠吉は家康の四男になります。



- 南宮山の西軍をけいかりするため配置した先鋭部隊です。南宮山の西軍が家康の背後になるため、攻め込まれると危ないため、ここを守る人は家康が信頼されてた人達だったようです。



- 東軍が整ってきた所じ、家康も三万人程の兵をひきつれて軍官として軍を指揮する人の本田忠勝と一緒に関ヶ原に入りました。
徳川家康は桃配山に布陣して、本田忠勝は伊勢街道付近に布陣しました。



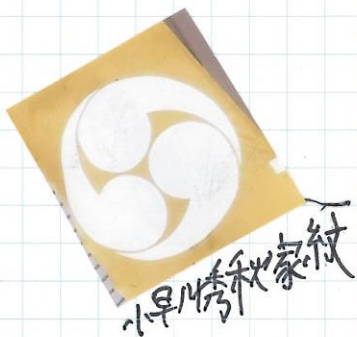
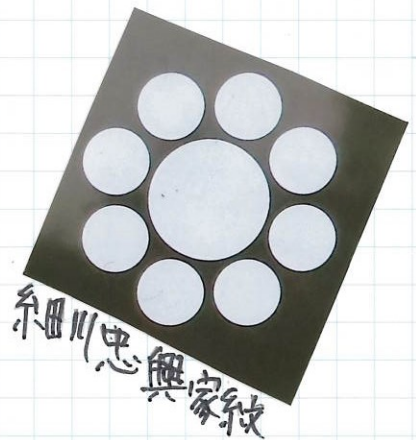
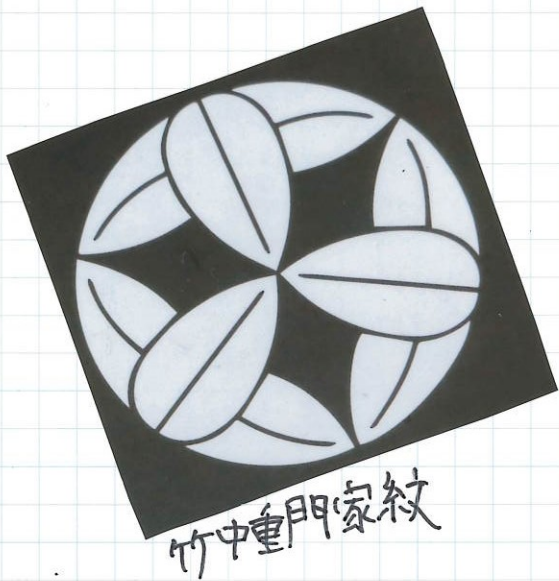
- こうして関ヶ原の戦いの軍の配置が整いました。



23.8.17 父さつえい

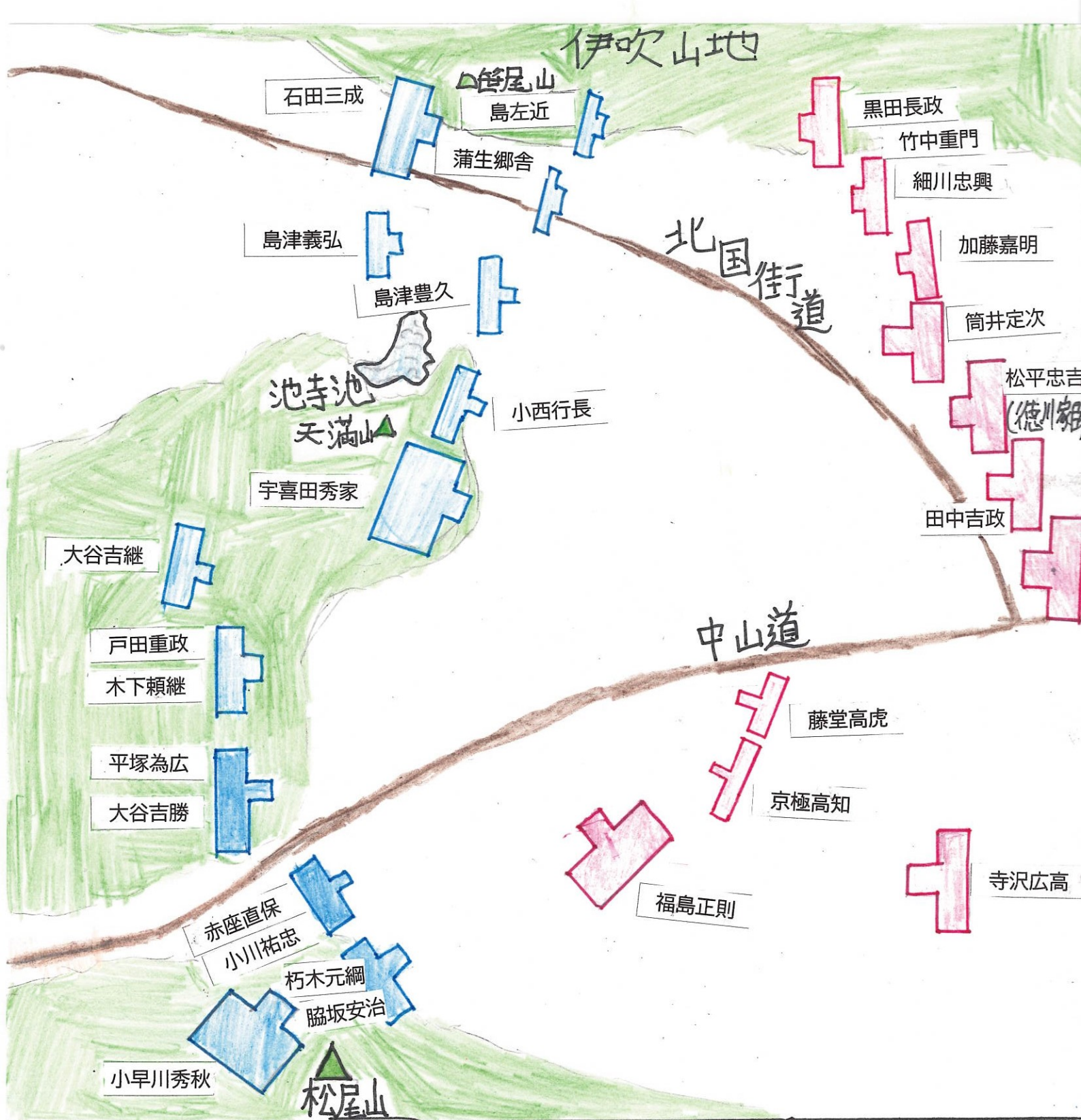


い
!! 開
!! 単
!! 戈
!!



23.8.17

各陣所に乙本人さつえい



西軍の兵の人数

宇喜田秀家	17,100	島左近	3,450	島津義弘	750
毛利秀元	15,000	小川祐忠	2,060	島津豊久	750
小早川秀秋	10,600	安国寺惠瓊	1,800	木下頼継	699
長宗我部盛親	7,040	石田三成	1,600	大谷吉継	586
小西行長	6,000	長束正家	1,500	赤座直保	586
吉川広家	4,200	脇坂安治	1,100	朽木元綱	586
蒲生郷舎	3,900	大谷吉勝	956	戸田重政	326
				平塚為広	293

上から見た 関ヶ原の戦い配置図

東軍 
西軍 



東軍の兵の人数

徳川家康	30,000	井伊直政	3,600	山内一豊	2,100	本田忠勝	510
福島正則	7,200	田中吉政	3,000	生駒一正	1,800	竹中重門	180
筒井定次	6,000	松平忠吉	3,000	金森長近	1,100		
細川忠興	5,000	加藤嘉明	3,000	古田重勝	1,000		
浅野幸長	4,800	京極高知	3,000	有馬豊氏	900		
池田輝政	4,500	藤堂高虎	2,300	織田有楽	600		
黒田長政	3,700	寺沢玄高	2,200				



1600年
9月15日

午前8時頃

開戦!!

- 東軍の井伊直政が鉄砲を西軍に向けてしまったことで戦いが開始されました。
福島正則が自分が一番槍をやるつもりだったのに先をこされ、井伊直政に怒ったとも言われています。その福島正則はこの戦いで大きく貢献した人です。

飯沼館長から教えてもらいましたが、関ヶ原は西軍が坂の上に取りたり崖の上にいるような配置で、西軍の兵の人数も多いし地形的にも西軍が有利な地形でした。

なぜ有利かと言うと、坂の下から攻めていくということは坂を登ることだけでも疲れるのに、進めきっていくことはとても大変なことだからです。



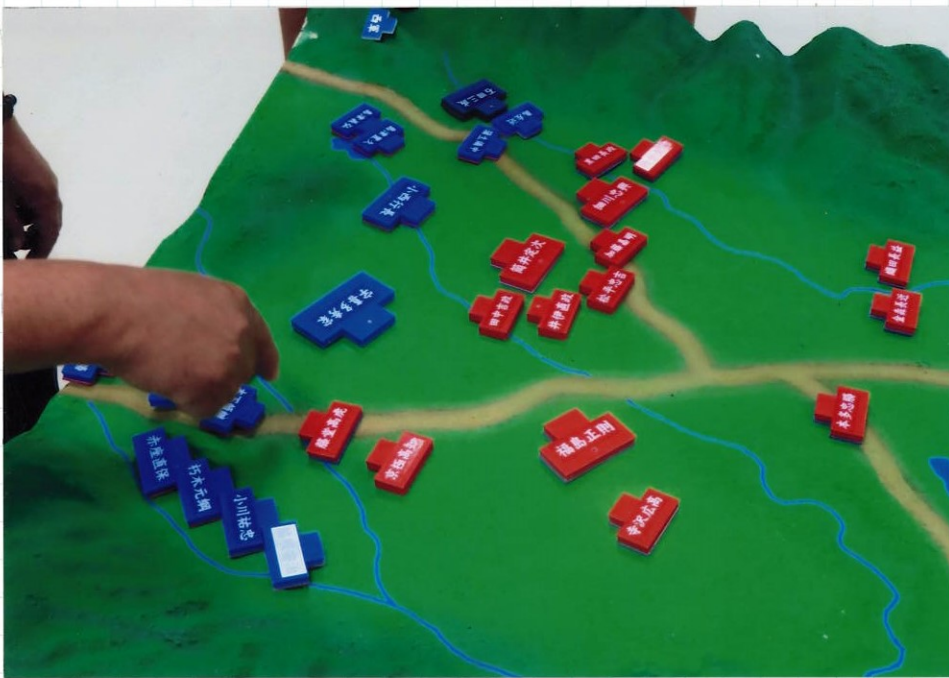
細川 忠興



島津 義弘

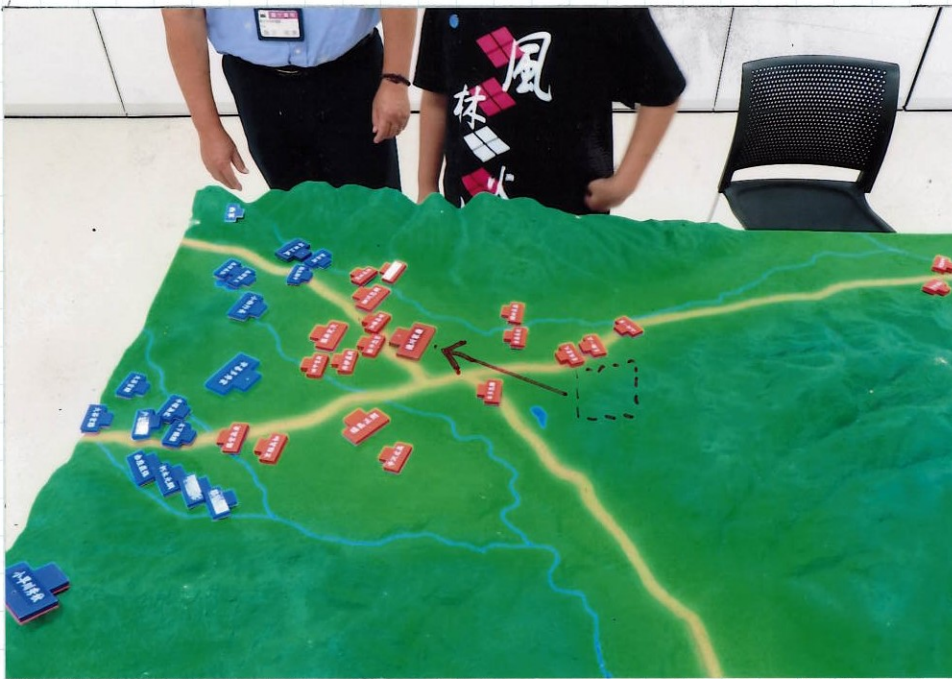


井伊 直政



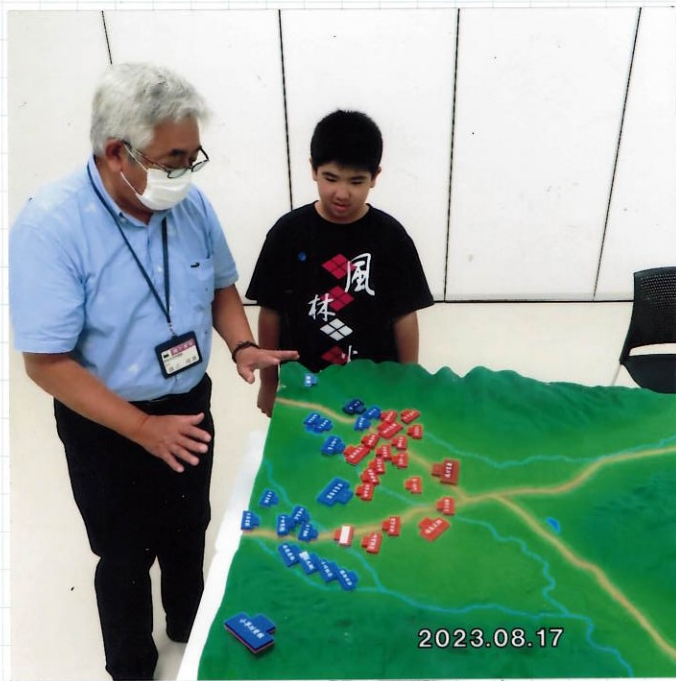
午前
10時~11時

- この写真では福島隊が宇喜田隊からはなれているように見えますが、
実は宇喜田隊に何回も後ろに下げられています。宇喜田隊は崖の上にいた
ことから福島隊は進むことにとっても疲れてしまっています。それでも
福島正則は兵に後にさがるなと言っていたようです。
井伊隊は小西隊に、藤堂隊・京極隊は大谷隊に、黒田隊は石田本陣に
攻めかかり、東軍も一生けん命攻めています。
この時まだ、西軍小早川秀秋は動きません。



- 同じころ
家康本隊も戦況がちゃんと
見える場所に移動し始めました。
この時はまだ西軍が有利だった
ため、家康はみんなを元気つけ
るために前に進んだとも言われ
ています。写真には写っていな
いですが、家康の本陣から少し
にある南宮山にかまえていた

西軍の毛利隊、吉川隊、長宗我隊が動なか、たため移動できました。実は吉川広家が
東軍よりにな。ていたため毛利隊を動かさないようにしていた人です。



家康、三成とも松尾山を見ています。
三成は、小早川に攻め込めという合図の
のろしを上げます。家康は松尾山を見て
親指をかんざりたと言われている。
なぜかと言うと、小早川は家康に対し、
東軍にね返る約束をしました。
でも、三成にも西軍のまゝ戦うと
伝えていたり、小早川は19歳だ、たことも
あるのかどちらにいくか決らん
でいながら、たと言われている。
※この戦において、どちらの軍もね返る
おさそいの手紙をわたしていたらうです。



ついに、小早川
東軍に^{ガッス}ね返る!!

正午ごろ、ついに小早川が東軍に優勢!!
色々な諸説はありますが、東軍が小早川に
対して鉄砲を打ち込み決た人殺したとも
言われています。

小早川隊は西軍の大谷隊に攻め込みました。

午後

1時〜2時ごろ



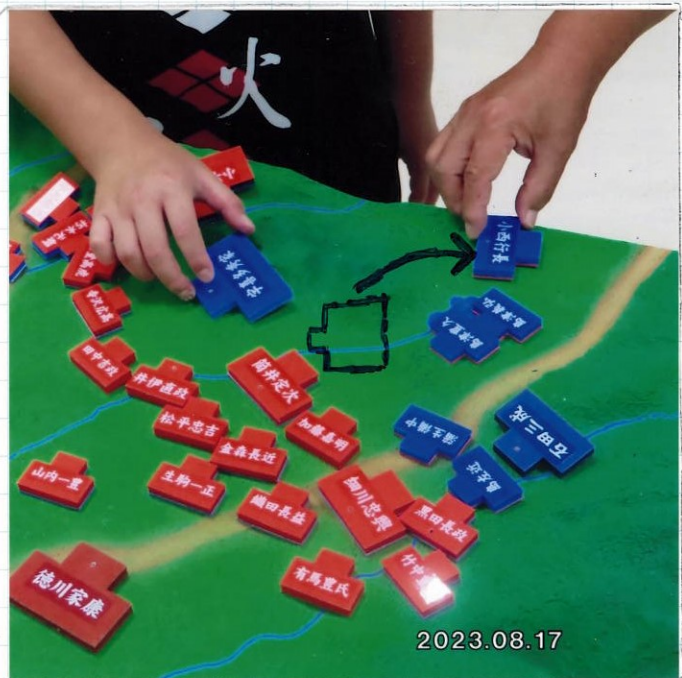
- 松尾山のふもとに陣をよっていた、
赤座隊、小川隊、篠永隊、脇坂隊は実は
全く参戦していませんでした。
しかし、小早川がね返ったことと戦況が
東軍有利と思われ、東軍から声をかけられて
いたこともあり、東軍にねがえり一気に
西軍大谷隊に攻め始めました。



- それでも大谷隊はとても強く、
小早川隊は何度も山のふもとまで
戻されましたが、脇坂隊たち4隊が
ね返ったこともあり、大谷隊は破滅
しました。大谷吉継はここで自害しました。
ここから東軍が一気に有利に
なっていました。

小早川秀秋
起ビジュアル
戦国武将大事典より
さんこ





午後2時ごろ

・小西行長 敗走

小西行長は6000の兵をひきいていたけれど、大谷隊が崩れるとあっけなく崩壊してしまいました。

小西隊は伊吹山の方角に敗走しました。



・宇喜田 秀家 敗走

宇喜田秀家隊は1万7千の兵をひきいていた大谷隊だ、たけれども、大谷隊、小西隊の崩壊がとて大きくえりきょうして伊吹山へ敗走しました。



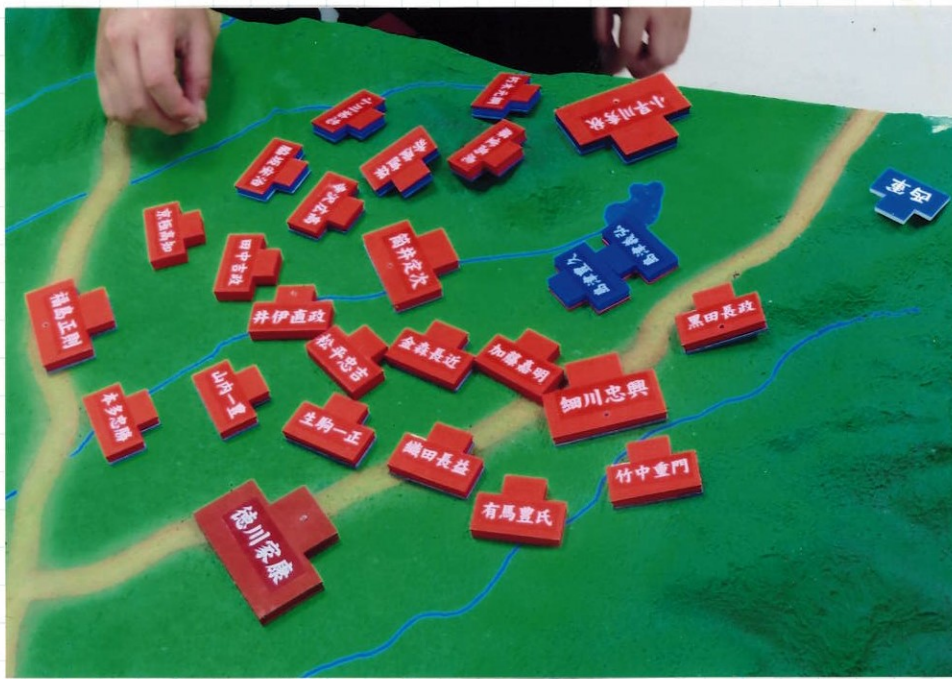
宇喜田 秀家
超ビジュアル

戦国武将大事典よりさんこう



・石田三成 敗走

西軍だと思、この隊が東軍に数々ねがえ、こしまい、石田本陣も守りきれなくな、こしまい、伊吹山方面に敗走していききました。



午後 3時ごろ

・島津隊、東軍に囲まれる

島津隊は西軍ではあつたものの、
家康とも仲が悪かつた

わけになかつたこともあり、
この戦いではどちらにも



うかなりという決意をもつていたため、
自分たちからは戦わなかつたと言われます。

他の武將は伊吹山に敗走していく中、島津義弘は、
一度は切腹も覚悟しましたが家臣たちに止められ
した。でも年をとつていたため伊吹山を
越えるのは難しいと思ひ、

※老武士のため、伊吹山の大山を越え難し。

たとへ言われるといへども、敵に向かつて
死すべし」と語り、正面とつぱを選びました。

こうして島津隊は、敵陣突破を行つて

伊勢街道の方に逃げていきましたが、

井伊直政や松平忠吉の隊が追、こきこ、

義弘の甥の島津豊久は義弘の身代わりを選び

戦死しました。この時、島津義弘750人、豊久750人

の少ない隊でしたが、鉄砲を多く持つていたため

攻め込まれながらも鉄砲をたくさん使つたようです。

この時に井伊直政は鉄砲でうたれて負つてしまつた

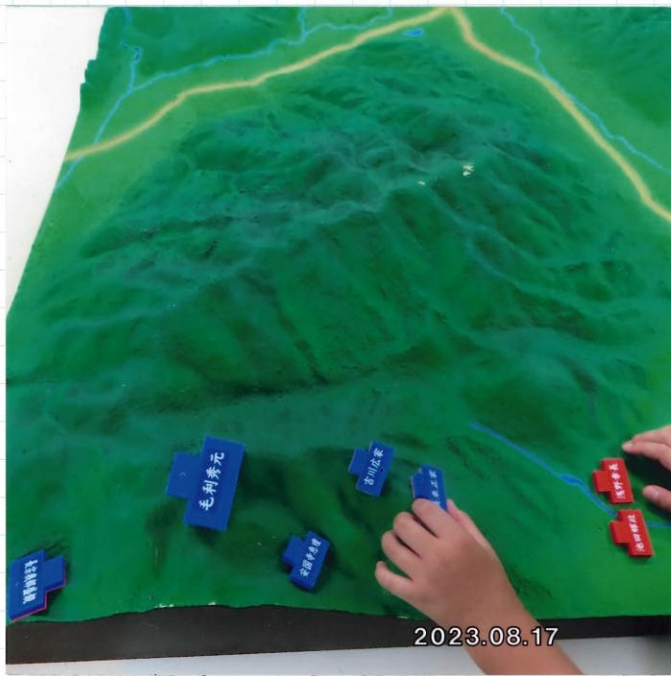
そして、義弘は無事に敗走できました。



※ 戦国大名と家臣団の系会事典 P279より引用

※1切腹ははらを切り、死ぬこと。例解学習 国語辞典 金田一京助編 P694より引用

※2家臣 武家などに仕える人。例解学習 国語辞典 金田一京助編 P233より引用



・南宮山にりた隊、敗走

それぞれの住んでいるところに戻っていきました。

黒田長政 起ビジュアル
戦国武将大事典より
こんな



午後4時ごろ

- ・家康本陣にみんな集まりました。家康から一番ほめられたのは、西軍からねがえた小早川秀秋でした。次の佐和山城攻めの先陣をきるという話になりました。他にねがえた脇坂隊たちもほめられたようです。

この戦いになる前に西軍の武将にたくさん手紙を送。たりして景でたくさん動いていた黒田長政もたくさんほめられました。こうして関ヶ原の戦いは決着がきました。

模型を使って教えてもらった感想

模型を使わせていただきありがとうございました。
今まで本で読んでわからな。ところが模型でわかるようになり、勉強になりました。地形などもよくわかりました。

飯沼館長さん ありがとうございます!!

関ヶ原の戦いについて教えて いただいて疑問に思ったこと

きもん①昔の関ヶ原にはそもそも人は
住んでいたのか？

きもん②戦いが終わった後の関ヶ原は
どうだったのか？

きもん③徳川 家康が失敗
したことは？

きもん④福島正則が一番槍
じゃなかったのはなぜ？

きもん⑤石田三成がたくさん
うらぎられたのはなぜ？

ぎもん①ぎもん②は引き続き、関ヶ原町歴史民俗学習館の飯沼館長がお答えしてくださりました。

ぎもん①昔の関ヶ原にはそもそも人は住んでいたのか？

- 当時の関ヶ原にも住んでいた人はいて、だいたい人口は2000人ほどだったそうです。農民が多かったけれど、昔から[※]宿場町だったこともあり宿で働く人もいたようです。

※宿場：むかし、旅人をとめたりウマをそなえた所 例解学習 国語辞典 金田一京助氏 P585より引用

- 戦いになる時はそれぞれの村ごとに山を持っていったため、自分たちの山に逃げこみました。でも松尾山などには兵がいて逃げこめないのび別のところや山深いところに逃げたそうです。
それは、家にいれば戦いに巻き込まれたり、家が焼かれたりしてしまうからです。
- また、当時はちょうど[※]榊原の時期だったこともあり、戦いになる前に急いで榊原を行、たのではないかとされています。

ぎもん② 戦いが終わった後の関ヶ原はどうだったのか？

- 関ヶ原の領主だった竹中重門が徳川家康から“後処理は頼んだ”と言われ、重門だけを置いて佐和山城攻めに向いました。その後の処理はとても大変だったようです。



父さつえい

- 重門は東首塚と西首塚という穴をつくって遺体を埋めていきました。東首塚は首が埋められ、西首塚は胴が埋められました。なので西首塚の方が大きい穴でした。西首塚の前のすくそばに丁度東海道本線を通す時に行った工事で、土を掘り起こしたときに、首のない胴体の遺骨が何体も見つかったそうです。

※当時は指揮をするえらい人の首をとり首帳を作、て出世につなげていく風習がありました。

実際に福島正則、細川忠興、黒田長政などは首帳が残っているみたいです。

- 遺体は埋めてしまいますが、重傷の兵の手当てなども大変だったのではないかと思います。
- 村民にしてみたら本当にいい迷惑なことでした。たぶんです。
- また当時日本で鉄砲は60万丁くらいあったと言われてますが、その中の1万丁を関ヶ原で使ったと言われています。その鉄砲から出た玉のなまりが大量に地面に残りました。なまりは溶けると毒になることと、そのままならまた鉄砲に使えて高く売れることから、みんなで集めたそうです。そして亡くなった人の甲冑や刀などもぎとられたりしました。

ここからのぎもん③④⑤は

岐阜県関ヶ原古戦場記念館の林 良樹さんにお話しを伺いました！

ぎもんに思ったことが結構マニアックだったのですが、そんな質問にも答えてくれました。



岐阜県関ヶ原古戦場記念館

林 良樹さん

父さつえい

ぎもん③ 徳川家康が失敗したことは？

林さんのお話し

大きく失敗と呼べるものはなかったと思いますが、思い通りにならなかっただことはあると思います。

1. 小早川がもう少し早く東軍にね返ってほしかったのではないかな

小早川は東軍にねがえると家康に約束していたので、もう少し早く決断してくれれば戦局は変わっていたのかもしれないかなと思います。

2. もう少し家康に味方になってくれる人が多かったか、と思います。たかもしれない

家康的にもう少し、味方が多かったら安心して戦えたのではないかなと思います。

3. 岐阜城の織田秀信が味方してくれなかったのは誤算だったのかもしれない

織田秀信は祖父の織田信長の代から受け継いだ岐阜城の城主です。その秀信が味方につくと思っていたら西軍側につけてしまったので誤算が生じて、

関ヶ原の戦いの前に岐阜城を攻め落とさなきゃいけなくなってしまっただけで、たこと成っちゃって誤算だったのかもしれません。

ぎもん④ 福島正則が一番槍

じゃなかったのはなぜ？

- そもそも福島正則は豊臣秀吉の家臣でした。石田三成とも一緒に働いてきましたが、三成のやり方に不満をもっていて、秀吉が亡くなった後に家康に急接近して東軍についた人です。

林さんのお話

福島正則は関ヶ原の戦いで先陣をきると決めていましたが、もともと家康の家臣ではなかったため、もともと家康の家臣だった井伊直政が、一番槍を打つのはどうなのか？と思い井伊直政が先手をつけたのではないかと思います。

ぎもん⑤ 石田三成がたくさん

うらぎられたのはなぜ？

- 石田三成はとにかく人望がなかったと言われています。三成は文治派といって武力ではなく頭を使って政治を行う人だったので、武断派と言って武力に適している人たちの気持ちを秀吉時代に理解しあげない人だったので。

戦いの最前線で立ち向かう大名が苦戦していることを秀吉にしっかりと伝えなか、たりと、だんだん秀吉の武断派は三成からはなれていきました。

その中、秀吉がなくなると、秀吉の次に強かった徳川家康の方に多くの武断派が流れていきました。黒田長政もその一人です。その黒田長政が関ヶ原の戦いの前から、家康の東軍にねがえるたくさん手紙を出して、家康は味方を増やそうと考えていました。

このようなことから、三成はたくさんうらぎられてしまったのです。

※林さんのお話と参考文献：関ヶ原と戦国武将の攻防 p81~83

林さんからお話を聞いた感想

お忙しい中ありがとうございました。学習館の模型で戦いのこともよくわかりましたが、林さんにお話を聞いて、さらに関ヶ原の戦いの深いところまで知ることができたので、今後関ヶ原のことをもっと調べたいと思いました。

教えていただきありがとうございました。

敗走した西軍はその後どうなった。

石田 三成

- ・北国街道沿いの伊吹山へと向かっていきました。
9月21日に古橋(現在の長浜市)の岩につまひそんでいるところを捕らえられました。
10月1日に京都の六条河原(現在の京都市下京区ほか)で処刑されました。

小西 行長

- ・伊吹山に逃げていき、9月21日につかまりました。
10月1日に、石田三成と六条河原で処刑されました。小西はキリシタンだったので、その教えを守り、自害を拒否して斬首されました。

宇喜田 秀家

- ・伊吹山の方面にかくれていました。
その後、島津義弘の支援を得る3年ほどさつまへ逃亡したあと、出頭しました。
島津家や妻の実家の前田家など必死の頼みで、死罪は免れ、丈島に流罪となりました。島という大変な生活でしたが、前田家からの支えでもらい、
84歳まで生き延びたといわれています。

島津 義弘

- ・関ヶ原脱出後、色々な道を通って大阪の堺につき、町人に船を出してもらい大阪から逃れてきた妻と合流してさつまに帰りました。さつまに帰ったからは桜島に住み、その後井伊直政、本多正信に家康との間をとってもらい、許されることになりました。

他の大名たちも斬首されてしまったり、
持っていた領地も没収されたり、減らされ
たりしました。没収された領地は東軍に
ついた大名にわたったようです。

家康は、西軍に対してこっぴどいした
処分をくだしたようでした。

調べたり、教えてもらったり、教えてもらってさらに 調べた結果、なぜ家康は勝てたのか自分の考え

◎ 家康は秀吉が亡くなる後、前からしっかりと自分が一番になる方法を
考えて、人を動かしていたこと

- その例として、関ヶ原の戦いの前までに東軍についた人たちがいました。
加藤清正、福島正則、黒田長政、浅野幸長、細川忠興、池田軍政、加藤嘉明
たちです。この人たちは、秀吉時代に秀吉の下で武断派として働いていた人たちです。
"主将"と言われて、とても強かった人たちですが、三成のやり方に不満を持て
いました。家康はそのことをちゃんと観察して、関ヶ原の戦いの前から連絡を
しっかり取り合い、家康側につくように工作していました。

- P13,14配置図を見てもらうとわかり
やすいのですが、関ヶ原の戦いの
本戦で家康の下でともに働いていた
人たちは、井伊直政、松平忠吉、
本多忠勝でした。あとはすべて
家康が東軍につくように取り込
み人たちは。



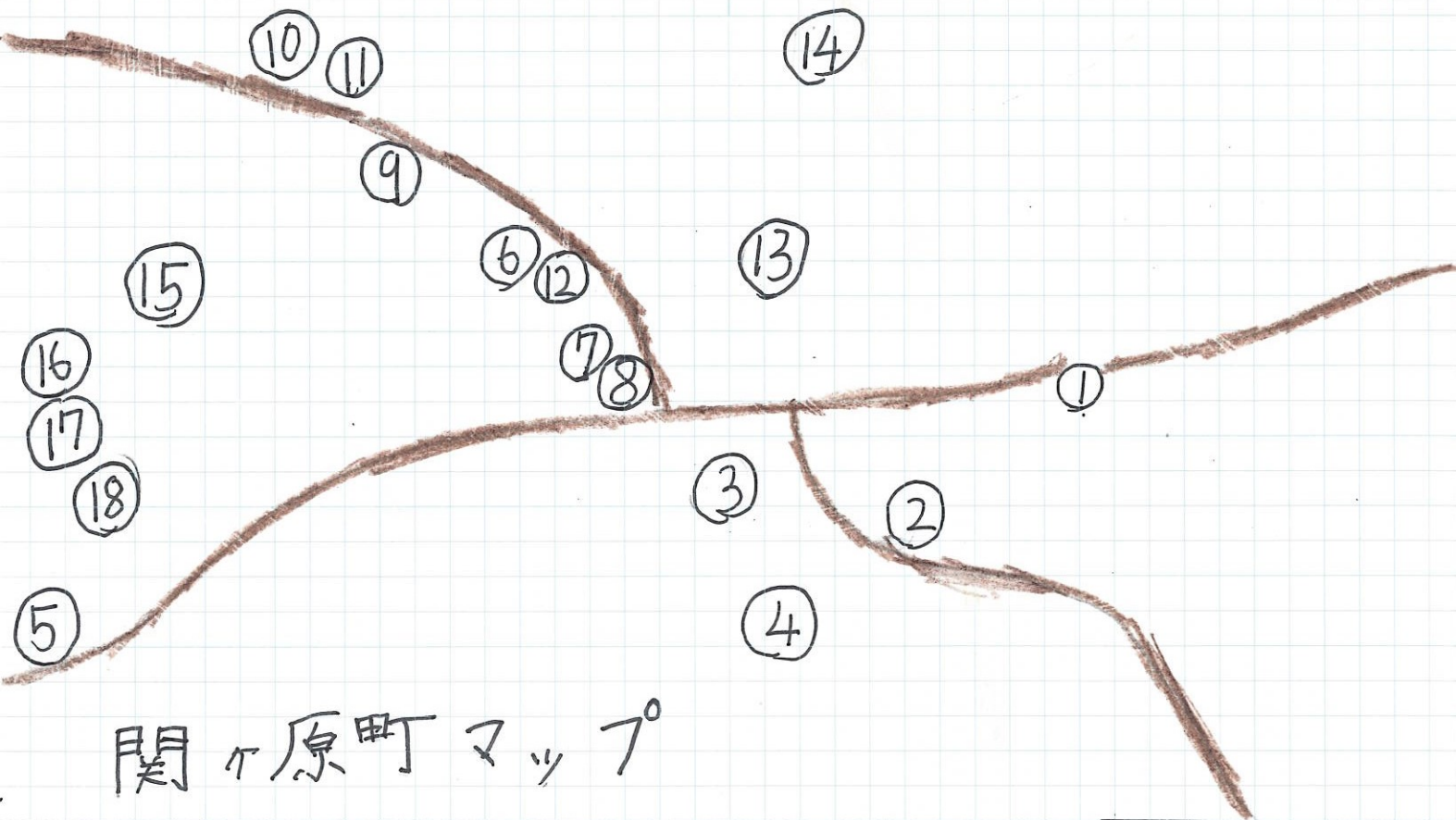
23. 8. 17. 父さつえり

- ◎ 三成の人望もなかったし、小早川や脇坂ひきいる4隊もどたんばで
東軍にねがえるだけのお誘いを何度も受けていたから、東軍の兵が多くなれたこと。

- ・ こうして、地形が戦いが起こった最初の兵の人数では西軍の方が有利だったけど、東軍にねがえる兵もいて、戦いが起こる前から、人の心をちゃんとかむ家康だったので、戦いに勝てたんじゃないかと思いました。
 また、秀吉時代に秀吉は家康や他の大名に「家宝は何か？」とたずねた時に、家康だけ「命知らずの部下どもです」とこたえたほど、もともととりた家臣たちを大切にしていたようです。家臣たちへの言葉使いが丁寧だったとも言われています。もともとの家臣たちは大切にされていたから、関ヶ原の戦いで一生けん命家康のために戦えたのではないかと思います。実際、井伊直政、本田忠勝は「徳川四天王と呼ばれる有力な武将とよばれています」。
 また、三成のやり方に不満を持っていた武将も、安心して家康側に仕えて一生けん命家康のために戦えた人だなと思いました。
 色々な人の気持が重なり合って、家康は勝つことができたのではないかと思います。

家康に対して思ったこと

- ・ 西軍側にはこっぴどくきびしい処罰をしたりもして、リフもいり人ってことではないんだとは思いますが、仲間に対して「部下に対してはとても丁寧」に接していたようなので、人の心を大切にする人だったから、この後も続く数々の戦いにも勝利して、信長、秀吉にもできなかった戦いのない太平の世を実現することができたのかなと思いました。
 人を思う気持を大事にして、ぼくも感謝しながら人を気づかり大切にしていきたいと思いました。



言聞べる学習でいおとされた場所



①徳川家康最初陣地

②本多忠勝陣地



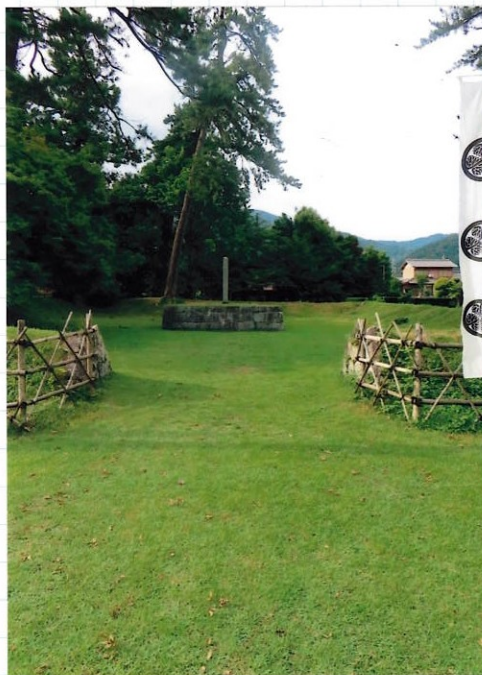


③西首塚



④福島正則陣所古趾

⑤旧中山道



⑥徳川家康最後陣地



⑦ 東首塚

⑧ 松平忠吉
井伊直政
陣所古跡



⑨ 決戦地



⑩ 石田三成陣所古跡



⑫ 岐阜関ヶ原古戦場記念館



⑪ 島左近陣地

このとなり

関ヶ原町歴史民俗学習館が
ありましたがりあつたことになりました。



⑬ 細川忠興陣所跡



⑮ 島津義弘陣所古跡

⑰ 小西行長陣跡



⑭ 黒田長政
陣所跡
竹中重門



⑯ 開戦地



⑱ 宇喜多秀家陣所跡



調べ学習であつた景色

5枚

本人さつえい 23.8.17



石田三成陣地から見た
松尾山



石田三成陣地から見た
景色



黒田長政陣地から見た
景色



古戦場記念館から見た
南宮山



小西行長陣地から見た
笹尾山



大垣市から見た関ヶ原方面の夕やけ

23.8.18(土)

調べてみる感想

- ・最初は歴史が好きだったのが始まりで関ヶ原の戦いに興味があって調べてみたら、関ヶ原の戦いでも色々な事がある、と想像していたことが多かったりととてもおもしろかったです。

今回のことについて

- ・思ったことは二つあって、一つ目はうどんしゃべれな方としゃべれたことです。興風図書館の川嶋さんは、見てみたい本のうんりきだけ伝えてくれるに色々持ってきてくださって、飯沼先生さん、林さんとはうどんを安くしゃべれな方々なので、しゃべる時にとってもプレッシャーが強くてうんりきにしゃべれなくなったり、頭が真っ白になってしまいましたが、実際にたくさんお話を聞くことができてとても楽しかったし、一生忘れない思い出になり、ご協力してくださって感謝がなくてとてもありがたいです。
- ・二つ目は、当時の風景は見えなかったけれど、そのうんりきを想像してわくわくしたこと。武将が布陣したところに立ち、ここに本人がいたんだなどが、ここを起点にして戦ったんだなと思ったりしたら本当に楽しかったです。

今後について

戦国史がとても好きだけど、それより前や後の歴史も全部つながっていて、だんだんそちらにも興味が出てきているので、引き続きたくさん歴史を勉強してみたいと思います。

ご協力くださった方々

○ 興風図書館

司書の川嶋さん

司書の杉山さん

○ 関ヶ原町歴史民俗学習館

飯沼 暢康 館長

○ 岐阜関ヶ原古戦場記念館

林 良樹さん

○ お父さん (写真さっえい協力)

さんこうぶんけん
参考文献リスト

	ほん 本のタイトル	ちよしゃ 著者	しゅっぱんしゃ 出版社	しゅっぱんねん 出版年	ページ	ばんごう バーコード番号 せいきゅうきごう 請求記号
1	ワールドワイド 関ヶ原合戦	藤井尚夫	朝日新聞社	2000年	88	1024 03185 2147
2	超ビジュアル 単行本 関ヶ原合戦	矢部 健太郎	西東社	2016年	244,278	私物
3	ビジュアル版 関ヶ原合戦	二木謙一	ポプラ社	2009年	122~125	110569365 281
4	ポプラディア 関ヶ原合戦		ポプラ社	2021年	173	1106491734 030
5	ポプラディア 関ヶ原合戦		ポプラ社	2017年	86	110642618 280
6	ポプラディア 関ヶ原合戦 3		ポプラ社	2017年	70~71	110642634 280
7	超ビジュアル 関ヶ原合戦	矢部 健太郎	西東社	2018年	248~ 253	私物
8	↓	↓	↓	↓	253	私物
9	↓	↓	↓	↓	250	私物
10	角川国語辞典 新版	久松潜 佐藤謙三	角書店	1969年	711	私物

さんこうぶんけん
参考文献リスト

	ほん 本のタイトル	ちよしゃ 著者	しゅつばんしゃ 出版社	しゅつばんねん 出版年	ページ	はんこう バーコード番号 せいきほうきこう 請求記号
11	図説学習 日本の地理5		旺文社	1977年	136,137	110392479 291
12	学習まんが 日本の伝記 SENGOKU 徳川家康	河合敦成 史至海 隆志 著	集英社	2020年	全ページ	私物
13	関ヶ原の戦い ハ政防	小和田哲男 一かしゅう	主婦の生活社	2000年	39	102403201 214才
14					52~55	
15					56,57	
16					58,59	
17					64,65	
18					128	
19					14~16 44	
20					58	

参考文献リスト (Webページ用)

	Webページを 制作した人・団体	Webページ名	Webサイト名	制作・ 更新年月日	URL	アクセス 年月日
1	読売新聞	遺貴翁松崎 は肖像画も知 将右田王成の体 が心にはまみ	読売ポ イン	2021.5.11	https://www.yomiu ri.co.jp/culture/ 20210511-0YT1750143/	8月22日
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

さんこうぶんけん
参考文献リスト

	ほん 本のタイトル	ちよしや 著者	しゅっぱんしゃ 出版社	しゅっぱんねん 出版年	ページ	ほんごう バーコード番号 せいきゆうきごう 請求記号
21	↓	↓	↓	↓	72,120,124 128,160-162	↓
22	↓	↓	↓	↓	206,207	↓
23	講談社 関ヶ原の戦い 私物	小和野哲男 かんしやう	講談社	2021年	26	私物
24	↓	↓	↓	↓	260	↓
25	↓	↓	↓	↓	70,88,90 108	↓
26	戦国大名と 家臣団の絵巻 私物	小和野哲男 かんしやう	成美堂出版	2022年	279	私物
27	↓	↓	↓	↓	104	↓
8						
9						
10						

